

11月定例山行
11月17日

飯ヶ岳

参加者 16名

CL 鬼武良子 SL 宮木一民
石倉、西井、杉原、三浦、
熊野、坂井、熊谷修、村田、
円山、小寺、佐々木、三重成、
三重典、[会友] 中島

コースタイム

県庁北口 7:20→徳地 IC 9:15→三本杉 9:50→登山口 10:05→分岐 10:25→
飯ヶ岳(昼食 11:20~12:30)→分岐 13:30→下山口 14:00→県庁北口着 17:00



○

昨年登山道が整備され、山本さんが推薦された山です。当日参加が出来ないということで、CLを引き受けSLには宮木さんをお願いしました。1人、2人、3人と減りましたが16名の参加者があり、定刻よりも早く出発出来ました。徳地 IC で降り大原湖を通り過ぎ滑集落をめざす。5kmのガタガタ道を登山者グループが歩いておられました。車に乗っているのが少し後ろめたい気持ちになりながら、三本松を見学し広い駐車場のある登山口にやっと到着しました。

登山口よりすぐに樹齢200年以上の「滑松」と呼ばれ、下枝が少なく枝ぶりのいい独特の松に出合えます。皇居新宮殿の内装や、錦帯橋に使われたこともある銘木とのことです。登山道は、下見のときよりも落ち葉におおわれていて歩きやすかったです。

山頂一帯は、ササや灌木が刈り払われ展望が素晴らしく「筋ヶ岳～弟見山」「十種ヶ峰」等が望めます。頂上は、多くの登山者で賑わい、ポカポカ陽気の中ゆっくりと昼食を取りました。

下山道は、かなりの急坂や200mの川床がありましたが皆さんなんなくクリアさ

れ、全長3.7kmを歩きました。ブナ林の紅葉はすでに遅く落ち葉でした。

悪路や狭い道を運転して下さったことに感謝し、天候に恵まれ、無事に山行を終えることが出来ました。

(記 鬼武良子)

○

11月17日(日)申し分のない好天気にも恵まれ、16名で山口飯ヶ岳に登りました。暑くもなく、寒くもなく1時間の登り、2時間の下りを要しての登山は快適でした。私は初めての山でしたので、めずらしい滑松や紅葉した山の景色を眺めながら…日本の四季はすばらしい、広島近隣の山々もまだまだ魅力ある山はあるのだなーと、感傷に浸れるゆとりのある山登りでした。滑松をはじめ知り、錦帯橋にも使われている松だそうで、根元から見るとずっと高くそびえている松だなーという思いでしたが、山の上から眺める滑松は、とっても優雅な姿をしていて絵心がある人ならば、筆を動かしたくなるのではと思われました。登山口までの往復の方が山行時間より長かったのですが、印象深く是非、もう一度行きたい山でした。

(記 坂井栄子)